

南相馬市の子ども達を春休みに迎えて！

藤沢2区 小野 精司

『東京スカイツリーがバスの近くから見えたよ！、小学校の卒業記念として湘南旅行に来ました！、普段は二本松に住んでいるのですが娘や孫に付いて来たので、お邪魔ですが宜しく！』など、元気な自己紹介で始まった「福島の子供達を湘南に呼ぼう！」春休みプロジェクト。南相馬市から8家族21名（小学生11、幼児1、大人女8、男1）を迎えて3月28日（木）から31日（日）まで行われました。宿舎は中井町の古い民家（山口様宅、築百年余）と隣の町立児童館（1階と2階）。故郷とは違う田舎や都会を体験しながら、放射能汚染を気にしないで保養して頂き、とても喜んで頂きました。

初日は、迎えの江ノ電バスに7時間乗り、途中で利用したスーパー銭湯（秦野市）は広くて色々なお風呂があつて楽しかったと好評でした。歓迎夕食会ではスタッフ手作りのバーベキューを味わいながら、バス車中で仲良くなった子ども達が母親と離れて一緒に座り、中井町長の歓迎の挨拶を聞いてから自己紹介。その後は、数々のマジック演技に興じたり、2階で元気に走り回っていました。

2日目は全員で新江ノ島水族館へ行き、イルカショーや水中ショーを見物。かわいいキーホルダーなどが土産。午後は辻堂のテラスモール湘南へ行き、それぞれが好きな店での飲食やショッピングに分れました。

ムなどを楽しみました。中井町に戻り、ご近所の4軒から「貰い湯」を頂き、家族単位で親しく交流する機会もありました。その晩は、お別れ前の懇親会。地元のハーモニカ・サークルの演奏を聴き、色々な話合いを行うとともに、アンケートにも記述して頂きました。主なものを紹介致します。



- ・ 自分でチケットを買い、バスや電車などを乗り継いで、目的地に行く良い社会体験が出来ました。
- ・ こども達の目の輝きがキラキラし、全身から喜びがあふれている姿を見て、親として嬉しい
- ・ 地元の方々から沢山の野菜をお土産に頂き、チョコレートやイースターエッグなどの差し入れにも感謝です
- ・ 放射線を気にすることなく外で遊べたり、水も心配なく飲めるのが嬉しかった
- ・ こどもだけでなく、イルカショーに興奮するなど大人も楽しめてとても良かった
- ・ もう少し横浜に居たいです
- ・ 私達のことを忘れずに末永く気に掛けて頂ければ、嬉しいです
- ・ スタッフの方々だけでなく、いろいろな方にお世話になり、ありがとうございます。感謝の気持ちで一杯です
- ・ 楽しかった、気分転換になりました
- ・ また機会があれば来てみたいです（また来ませ！！ベイビー）



3日目は自由行動の日。鎌倉や横浜へ行き、中華街や山下公園、カップヌードル・ミュージア

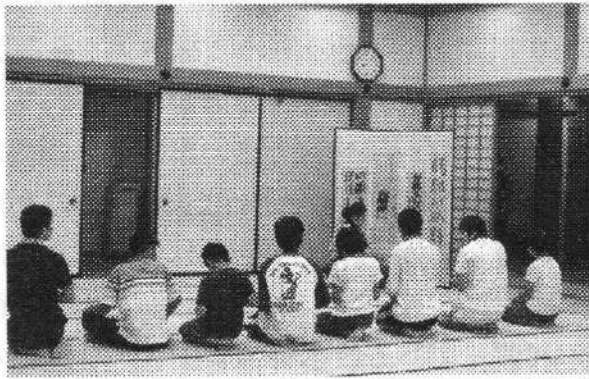


福島の子ども達を迎えて

NPO「子どもたちに未来をin湘」浅野 洋子 (善行)

まだ恋も 知らぬ我が子と思うとき「直ちには」とは意味なき言葉

俵万智さんが福島原発事故により、お子さんと避難された後に詠まれた歌ですが、これはそのまま南相馬のお母様達の気持です。昨年の夏休みに、福島の子ども達を湘南に呼ぼう！と始めた活動も夏休み、冬休み、春休みそして2度目の夏休み保養プログラムが実施されました。南相馬の家族



25名は7月26日から29日まで寒川神社に宿泊し、児童養護施設・福島愛育園の子どもと職員43名は8月2日から6日まで建長寺に宿泊しました。

今もなお南相馬では放射能から身を守るために、子ども達は家の玄関から学校の玄関まで車で送迎しています。放課後も外で遊べない子ども達のことを、一緒に保養に来られたご家族の皆さんは心配していました。何とか自費で除染しても、数ヶ月でもとに戻ってしまう「イタチごっこ」のような日々でのストレスは計り知れないものでしょう。子供達の将来のこと、避難して4割は戻ってこない生徒達のこと、バラバラで生活しなければならなく

なった家族のこと、狭い間取りの気疲れと窮屈さ…とお話は尽きることがありませんでした。「遠くに行っただけのことではそれでいいんだ、子ども達も自分で選べる歳になったら南相馬を出て戻ってこなくて良い」と何度も自分に言い聞かせるように話してくれましたが、福島の子どもの抱える苦悩は日本全体が共に担う問題だと思います。10月1日から2日まで、教会の卒原発主催で南相馬にバスで行きます。関心のある方、ご一緒しませんか。

福島愛育園の子ども達とも1年ぶりの再会です。昨夏に、浮田さんのお宅に宿泊させていただいた数人は小学校の1年生になっていました。浮田さんがどんなに喜んで、子ども達を抱きしめたか…。第2日目は班ごとに出かけました。「今年も海で釣りをしたい」と釣り竿持参組や、新江ノ島水族館、銭洗い弁天や源氏山散策、江ノ電に乗りたい、小町通りを歩いて七里が浜で昼食などなど、思い思いの計画での一日でした。第3日目は海浜公園のプールに行きました。「流れるプールが楽しかった」と真っ黒に日焼けした笑顔で話してくれました。夜は小野さん達のやすらぎマジッククラブ7名の演技に大喜びし、片瀬教会の方からお茶の作法を学び神妙な顔でのお手前でした。

回を重ねてきたことで、互いに心をゆるし合い楽しむ事もできてきたように感じています。南相馬の家族の為のポストファミリーには3組10人が応えてくれました。原鉄道模型博物館と日清カップヌードルミュージアムは団体行動をし、その後家族単位で動きました。ご協力ありがとうございました。ホストファミリーして、南相馬の家族と一日を共にしてくれた小さな大使のメッセージです



とても良い友だちができて楽しかったです。また遊びに来てください。

こっちも遊びに行きたいです。小藤優作 (小4)